

## 7月定例記者会見の概要

1 日 時 令和3年7月5日（月）9時30分～10時30分

2 場 所 本庁舎3階 第一会議室

### 3 出席者 <報道機関>

- ① 朝日新聞社 南相馬支局（南相馬記者クラブ会員）
- ② 河北新報社 南相馬支局（南相馬記者クラブ会員）
- ③ 毎日新聞社 南相馬通信部（南相馬記者クラブ会員）
- ④ 読売新聞社 南相馬通信部（南相馬記者クラブ会員）
- ⑤ 福島民報社 南相馬支社（南相馬記者クラブ会員）
- ⑥ 福島民友新聞社 相双支社（南相馬記者クラブ会員）
- ⑦ 共同通信社 福島支局（南相馬記者クラブ会員）

計 7 社

### < 市側 >

・市長・総務部長

(テレビ会議)

- ・林副市長・常木副市長・教育長・小高区役所長・鹿島区役所長
- ・復興企画部長・市民生活部長・健康福祉部長
- ・健康福祉部新型コロナウイルス対策担当理事・こども未来部長
- ・経済部長・経済部農林水産担当理事・経済部企業支援担当理事
- ・建設部長・総合病院事務部長・教育委員会事務局長

計 18 人

(司会進行) 秘書課長

(会議記録) 秘書課広報広聴係

### 【市政報告】

前回6月8日の記者会見から最近までの出来事についてご報告申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症についてです。

最初に、市内の感染状況についてです。

5月16日から6月24日まで、感染者は確認されませんでした。6月25日から7月3日までに、「原町区の繁華街にある接待を伴う飲食店に関連したクラスター」が公表されるなど、計23人の感染者が確認されています。

このため、昨日7月4日に、急遽、新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、市独自のPCR検査や、市内飲食店への巡回活動の実施を決定いたしました。

7月に入り、海水浴場の利用開始や相馬野馬追などが近づいてまいりました。これらの行事に影響が出ないように、必要な対策を進めて参ります。

市民の皆様には飲食店などを利用する際、感染防止対策がされている店舗を利用するなど、引き続き、感染対策にご理解・ご協力をお願い申し上げます。

次に、ワクチンの接種状況についてです。

7月4日時点で、市民全体の52パーセントが1回目の接種を完了し、30.4パーセントが、2回目の接種を完了しています。

本日7月5日から、59歳以下の方を対象とした企業別接種、地区別接種が始まり、8月28日までは、希望者全員へ2回目の接種を完了できる見込みです。

市民の皆さんが安全な環境で速やかに、必ず接種できるよう準備を進めています。円滑な接種のため、ご協力をお願いします。

次に、市議会定例会についてです。

6月15日に開会した第3回南相馬市議会定例会は、7月1日に閉会しました。

この議会では、「南相馬市災害等遺児支援金支給条例制定」をはじめ、追加提案を含む議案21件について議決を賜りました。

次に、災害対策ドローンに関する会議についてです。

6月16日、千葉県のみつしほで国内最大のドローン展示商談会「ジャパンドローン2021」が開催され、「南相馬市における災害対策ドローンと行政デジタルトランスフォーメーション」をテーマにした国際コンファレンスに、パネリストとして出席してまいりました。今回のコンファレンスには、株式会社テラ・ラボの松浦氏も出席しており、南相馬市における災害時のドローンの活用や、今後の行政とドローン技術の連携について議論を交わしました。

次に、農業インターンの募集についてです。

市では、6月25日から、地域おこし協力隊のインターン制度を活用して、農業に関心があり、南相馬市で就農を希望している市外在住者を対象に、農業インターン生を募集しています。

活動内容としては、市内の農業法人や農家等で農業研修を行っていただくほか、活動内容のSNSへの投稿、地域イベントへの参加なども予定しています。

南相馬市の主要産業の一つである農業の担い手を育成することで、小高区を中心とした旧避難指示区域の活性化を図ってまいります。

次に、復興工業団地、立地企業第一号の工場開所についてです。

6月28日、復興工業団地にロボコム・アンド・エフエイコム株式会社の南相馬工場が開所いたしました。

昨年6月から着工していたもので、7月1日より操業を開始しています。世界レベルの技術力を持つ同社による製品開発及び人材育成が、南相馬市における新産業の創出と人材誘導の一翼を担うものと期待しております。

次に、外国人活躍支援センターの開所についてです。

6月28日、外国人活躍支援センターを開所いたしました。愛称は公募の結果、「SAKURA（サクラ）」に決定しました。

「サポート」の「サ」、「くらし」の「くら」の文字をとり、市の花である「桜」に

ちなんで名づけられました。

外国人の皆様への情報提供や相談対応を通して、市内企業への雇用促進を図ってまいります。

次に、ベンチャーキャピタル等との連携協定についてです。

6月30日、新たに9社のベンチャーキャピタル・金融機関等と連携協定を締結いたしました。

連携協定を結んだベンチャーキャピタル・金融機関等は、昨年締結した20社と合わせて、合計29社となります。

これまでの資金調達の実績として、株式会社テラ・ラボが、ドローンファンドからの出資や複数の金融機関からの融資を受け、市内での研究開発や工場の建設を進めているほか、食品廃材の有効活用に関する研究開発を行っているトレ食株式会社が、投資型クラウドファンディングサービスを通じて、資金調達に成功した事例などができています。

引き続き、市内のベンチャー企業などを資金調達面でサポートできるように取り組んでまいります。

続いて今後の主な話題について触れたいと思います。

はじめに、小高区の園芸施設についてです。

7月7日、小高園芸団地地域営農支援施設の安全祈願祭が執り行われます。

今後、令和4年2月の一部竣工、同年3月の一部供用開始を目指し、工事が進みます。

施設の敷地面積は約3.8ヘクタール、農作物の年間取扱量は最大で約650トン、売上額は最高で約1億4千万円を見込んでいます。

通年で農作物を栽培する設備や集出荷機能をもつ施設を整備することで、農家の負担軽減を図り、農業の振興などに寄与するものと期待しています。

次に、企業との連携協定についてです。

7月7日、テトラ・アビエーション株式会社と本市は、イノベーションに資する取り組みに多方面で協力するため、連携協定を締結いたします。

具体的には、空飛ぶクルマ等技術の実証やロボット関連技術の人材教育、市内企業等との連携等に関して、相互協力を図るものです。

地域の特性やニーズに合ったきめ細かい施策を実践することにより、地域産業の活性化及び地域住民の生活の質向上を図ってまいります。

次に、相馬野馬追についてです。

7月24日から26日まで、令和3年度相馬野馬追を開催いたします。今年は、2年ぶりに行列や神旗争奪戦、野馬懸など公式行事を開催する予定です。

総大将は昨年に引き続き、相馬家第33代当主 相馬和胤公の御嫡男 相馬行胤公、副大将 海老原永明様がご出陣される予定です。

開催にあたっては、一部の行事を簡略化し、沿道での観覧は自粛を呼びかけ、密にならないよう、新型コロナウイルス対策を講じながら、安全を最優先いたします。

昨年度、馬主支援を目的としたクラウドファンディングや、祭場地改修に向けたガバメントクラウドファンディングなどを実施し、多くの皆様から多額のご支援をい

いただきました。

本来であれば、支援者の皆様には、本市にお越しいただき、相馬野馬追をご覧いただきたいところですが、今年は祭場地内の行事を無観客とすることから、南相馬チャンネルやインターネットでのライブ放送を予定しています。

相馬野馬追は地域の安寧と繁栄を祈念して開催する神事です。

市民の皆様にはご心配やご不便をおかけしますが、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

## 【各部からの報告（資料提供のみ）】

### ◆経済部

- ・令和3年度「相馬野馬追」の概要

## 【質疑応答】

### 質問1：

静岡県熱海市で発生した土石流の被害について、支援を行う予定はありますか。

### 回答1：市長

本市をご支援いただいたことのある静岡県内の自治体及び団体に照会したところ、現時点で支援の要請はないため、様子を見ている状況です。

### 質問2：

資料「令和3年度相馬野馬追の概要」に「神旗争奪戦の花火は1発ずつ15発（新型コロナウイルスの影響で時間短縮）の打ち上げ」とありますが、これは変更点になりますか。

### 回答2：市長

例年は20発打ち上げていました。今年は1発ずつ15発打ち上げ、旗の数は30になります。

### 質問3：

市内で新型コロナウイルスの感染者が急増していますが、相馬野馬追の開催方法の変更について検討しますか。

今後、開催方法を見直すにあたり、ポイントになるのはどのようなことですか。

### 回答3：市長

現時点で変更はありません。今後、県が実施するPCR検査の結果など、推移をみていきたいと思えます。なお、現時点の感染者に野馬追関係者はいないと聞いています。

相馬野馬追の出場者や関係者には、開催2週間前からの健康管理や神旗争奪戦でのマスク着用、その他の行事では騎馬同士の距離を1m以上の距離をあけるなどの感染対策を講じることとしています。

今後、市内で感染が拡大すれば、出場を辞退する方も出てくると思えます。そうした状況によっては、開催方法を見直す可能性はあります。

### 質問4：

相馬野馬追の出場者が新型コロナウイルスに感染した場合、行事の開催に支障は

ないのでしょうか。

**回答4：市長**

散発的に出場者が感染したとしても、開催に支障はないと考えています。仮に、出場者が集団で感染して、騎馬会の活動に支障が出るなど、今後の感染状況を踏まえ、開催方法については見直す検討も必要であると考えています。

以上